

ひと



大規模工業基地を目指して70年代に開発された苫小牧東部地区(苫東)。その環境保全と活用を図るNPO法人「苫東環境コモンズ」の設立にむけて事務局を担う苫小牧市の団体職員、草薙健さん(57)は「豊かな自然を資源として生かしたい」と語り、人々の憩いの空間を作りたい」と語る。

苫東の自然活用訴え

苫東は総面積1万7000畝。東京のJR山手線の内側の約1・6倍。広大な土地に火力発電所や国の石油備蓄基地、いすゞ自動車の工場などがある。しかし、多くは放置されたまま太平洋に面して広大な原野が広がる。

「苫東は企業進出が進んでも全体の3分の1、約3400畝は緑地として残す計画。コナラやミズナラの雑木林が広がり豊かな自然が息づいている」。勇払原野の散策ルート「フットパス」や「勇払原生花園」「自然海岸」など特徴的なゾーンを活用するビジョンを描く。自らのホームページ「雑木林&庭づくり研究室」でも雑木林の魅力を発信している。【斎藤誠】

毎 日 新 聞
2009年(平成21年)10月24日(土)